

第2回 ASQN(Asia Software Quality Network)セッション in 上海 ルポ

(一財) 日本科学技術連盟 SQiP 国際委員会

1. ASQN アジアから発信するソフトウェア品質向上の取り組み

2014年10月24日(金)に、中国・上海で第2回 ASQN セッションが Shanghai Forum on Software Trade 2014 内で開催されました。

ASQN (Asia Software Quality Network) とは、ソフトウェアの開発・調達がグローバル化する中、ソフトウェア品質向上の事例や取り組みなどを共有することで互いに発展し、アジアの取り組みをグローバルに発信していくことを目的とした、アジア各国間のネットワーク(コミュニティ)です。活動は、年に1回、研究や経験事例の共有を ASQN セッションとして開催しています。現在、中国、マレーシア、韓国、フィリピン、タイ、シンガポール、ベトナムなどアジア各国のソフトウェア関連団体が、参加または参加の検討をしています。

2. ASQN セッション概要

今回第2回 ASQN セッションは、中国・上海の上海科学会堂で、2014年10月24日(金)9時～12時に開催されました。セッションの主催は、ASQN メンバーである SSIA (Shanghai Software Industry Association. 上海ソフトウェア産業協会)が務めました。



朝9時の開始時間には席はほとんど埋まりました。数多く集まった中国のソフトウェア技術者の関心の高さに、会場の空気も高まってきます。



<会場の風景>

SSIA の楊先生のオープニングの挨拶に始まり、日本から SQiP 運営委員長である東洋大学の野中教授から、日本におけるソフトウェア品質向上の取り組みの発表がありました。野中先生の流暢な英語、身振り手振りを交えたプレゼンテーション、そして SQiP の取り組みを交えた日本の活動の紹介そのものが、聴講者を惹きつけ飽きさせません。野中先生のセッションもあっという間に終わり、中国からのリーン/アジャイルにおけるソフトウェア品質向上の取り組みの紹介が続きます。中国では、海外の依頼によるオフショア開発のステージから、自国のソフトウェアを自分達で開発するステージに移り、ソフトウェアの開発方法においても先進的な取り組みがされている状況です。アジア各国の国内のソフトウェア開発およびその品質向上の取り組み事例が聞けるのも ASQN ならではです。



<野中教授のプレゼンテーション>

3. 次回 ASQN は日本で開催予定

次回 2015 年 ASQN は日本で開催される予定です。アジア各国のソフトウェア品質向上の取り組みが共有できる機会ですので、皆さんぜひご参加ください。

今後の ASQN の活動に乞うご期待！

参考情報：

ASQN セッションが開催された Shanghai Forum on Software Trade 2014

<http://en.globalitoutsourcing.org.cn/en/abouts.asp>